

名古屋大学大学院経済学研究科

G30 科目担当教員（任期付き講師）

公募要領

1	募集件名	名古屋大学大学院経済学研究科 G30 教員（経済学分野，講師，常勤，任期付）の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所属	名古屋大学大学院経済学研究科	
4	募集内容	[職務内容（業務内容，担当科目等）] （雇入れ直後） （1）国際社会科学(G30)プログラム等の科目の講義と演習。講義は 16 単位(年間 8 コマ)。演習は 2 コマ以上。（1 コマは原則として，毎週 90 分授業を 15 週分とします。） ・授業等を夜間，土日祝日に行う場合があります。 ・主な担当授業科目は以下の通りです。 ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ，マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ，エコノメトリックスⅠ・Ⅱ，経済トピックス，経済・ビジネス演習等 （2）通常の講義・演習の運営に付随する業務（オフィスアワーを含む） （3）国際社会科学プログラム学生に対する支援 （4）国際交流業務の支援・補佐 （5）期末試験・入学試験関連の業務 （6）上記職務のほか，研究科長が指示する業務 （変更の範囲） ・東海国立大学機構が指定する業務	
		[勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所	
		[募集人員] 講師・1 名	
		[着任時期] 2026 年 10 月 1 日	
5	募集研究分野	大分類	社会科学/Social sciences
		小分類	経済学/Economics
6	勤務形態	常勤 契約期間：任期あり（3 年） 試用期間：あり（採用日から 6 か月）	
7	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] （1）博士，Ph. D. 又はそれに相当する学位を有すること。 （2）学部および大学院の授業を効果的に実施するだけの英語能力を有すること。 （3）学生へのアドバイスや学内でのコミュニケーション等を円滑に行う対人能力を有すること。 （4）国際社会科学(G30)プログラム（事務的業務を含む）に対して幅広く参加する意欲を有すること。 （5）日本語でコミュニケーションをとる能力を有することが望ましい。	
8	待遇	[採用後の待遇（給与，勤務時間，休日，保険等）]	

		<ul style="list-style-type: none"> ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html ・専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 ・休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） ・加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応募期間	<p>2026年 2月19日～ 2026年 3月18日</p> <p>適任者の採用が決まり次第、募集を締め切る場合があります。</p>
10	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <p>①応募書類は、JREC-IN Portalの「Web応募」機能で受け付けます。</p> <p>②下記の応募書類をpdfファイルで作成し、「Web応募」機能へアップロードしてください。</p> <p>(1) カバーレター</p> <p>(2) 履歴書（顔写真付きCV）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・氏名、生年月日、現住所、電話番号、電子メールアドレス、顔写真、学位（取得年月、称号名、授与大学名称、学位論文題目）、学歴（大学以降）、職歴、所属学会、賞罰、その他等を記載してください。JREC-IN作成様式の使用を推奨します。 ・「その他」の欄に以下の事項を記してください。研究分野、日本語・英語の検定試験の結果 <p>(3) 研究業績一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・査読論文はその旨を明記し、当該雑誌の「投稿規程」を添付してください。 ・受賞歴、競争的資金の獲得状況を記載してください。 <p>(4) 成績証明書のコピー（公募申請時には、非公式のコピーも可とします）</p> <p>(5) 著書や主要論文3編以内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著書並びに査読論文を優先して含めてください。 ・被引用のある論文の場合には、資料等を適宜添付してください。 ・必要に応じて、追加の論文の送付を依頼することがあります。 <p>(6) これまでの研究の概要及び今後の研究計画（上記主要論文の内容の要約を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2ページ以内 <p>(7) 教育経験、留学生の支援・指導に関する経験および抱負についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2ページ以内 ・マイクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、エコノメトリックスⅠ・Ⅱが担当可能か否かを記してください。 <p>(8) 学部の講義2つ（入門レベルの①マイクロ経済学、②マクロ経済学、③エコノメトリックスのうちいずれか2つ）のシラバス案</p> <p>(9) 以下の項目などの優れた教育能力の証拠（該当するものがあれば）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優れた教育に対する表彰、受賞 <p>(10) 応募者について意見を述べることのできる方（照会者）1名の氏名、所属、メールアドレス</p> <p>③pdf化できない著書等がある場合、ファイルの容量が制限を超える場合はメールで事前に相談してください。</p> <p>問合せ先：名古屋大学大学院経済学研究科 G30 教員選考委員会 電子メールアドレス：keizaijs1(at)t.mail.nagoya-u.ac.jp ※(at)を@に変更して送信してください。</p> <hr/> <p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <p>① 一次選考では上記の応募書類について書類選考を行います。</p> <p>② 一次選考の合格者について、二次選考ではセミナー（研究報告、模擬授業）を実施していただき、面接を行います。（セミナー候補日 2026年4月1日）</p> <p>③ 二次選考については、メールで連絡を行います。</p> <p>[結果通知方法、応募書類の返却可否等] 結果通知は、メール又はJREC-INで連絡します。</p>

11	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学大学院経済学研究科では、デジタルデータ駆動型研究（様々なタイプの大規模データを対象とする実証研究）に取り組んでいます。 ・経済学研究科の詳細については、下記ホームページを参照してください。 http://www.soec.nagoya-u.ac.jp/ ・名古屋大学は業績（研究業績，教育業績，社会的貢献，人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には，女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については，本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は，本選考委員会が責任を持って処分し，返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い，大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い，本公募に応募の際，「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また，採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・本学では，多様性の推進やワークライフバランスの促進に，積極的に取り組んでいます。詳細については以下のURLをご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンター Web サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ，エクイティ，インクルージョン&ビロッキング（Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB）推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・出産・育児・介護・病気等の理由により，過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば，その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより，不当な評価を受けることはありません。
----	-------	--